

## 5. 数値目標

日野市では、以下の4つの数値目標に向けて取り組みを実施します。

達成に向けて  
全力前進！



① 一人1日あたりのごみ・資源物排出量	② 総資源化率 ※中間検証後改定プランより参考値としています。
<p>『多摩地域で一番少ない排出量！』</p> <p>令和3年度までに590g/人・日以下とし、 令和8年度までに550g/人・日以下とします</p> <p>648g/人・日 → 590g/人・日 → 550g/人・日</p> <p>平成27年度      令和3年度      令和8年度</p>	<p>『多摩地域で上位の総資源化率！』</p> <p>令和3年度までに42%以上とし、 令和8年度までに45%以上とします。</p> <p>35.3% → 42.0% → 45.0%</p> <p>平成27年度      令和3年度      令和8年度</p>
③ 焼却処理量	④ 最終処分量
<p>『平成27年度比20%削減！』</p> <p>令和3年度までに28,000t以下とし、 令和8年度までに26,000t以下とします。</p> <p>33,138 t → 28,000 t → 26,000 t</p> <p>平成27年度      令和3年度      令和8年度</p>	<p>『最終処分量ゼロ！』</p> <p>令和3年度までにゼロとし、 令和8年度までそれを維持します。</p> <p>17 t → 0 t → 0 t</p> <p>平成27年度      令和3年度      令和8年度</p>

## 6. 数値目標の達成に向けて

市民のみなさまの協力なくして目標の達成はできません。

以下の指標や取り組みを参考に、ごみゼロ達成へのご協力をお願い致します。

みなさんの協力が  
不可欠です！



① 1人1日あたりの可燃ごみ削減量	② 1人1日あたりの不燃ごみ削減量
<p>405g/人・日 → 370g/人・日 → 351g/人・日</p> <p>平成27年度      令和3年度      令和8年度</p> <p>(可燃ごみー54gに向けた具体的な取り組み)</p> <p>○生ごみの水切り ○家庭・地域での堆肥化 ○可燃ごみ中に混入した紙類の分別・資源化 ○剪定枝等のリサイクル      など</p>	<p>84g/人・日 → 19g/人・日 → 15g/人・日</p> <p>令和7年度      令和3年度      令和8年度</p> <p>(不燃ごみー69gに向けた具体的な取り組み)</p> <p>○プラスチック類の分別・資源回収 ○小型家電・金属類回収の推進 ○分別徹底・適正排出      など</p>

第3次日野市ごみゼロプラン〔概要版〕 ～ごみゼロ社会を目指して～

平成29年3月発行

発行：日野市 環境共生部 ごみゼロ推進課

日野市石田1丁目210-2 電話：(042) -581-0444 E-mail：gomizero@city.hino.lg.jp

## 第3次日野市ごみゼロプラン

～ごみゼロ社会を目指して～

(日野市一般廃棄物処理基本計画 概要版)



### 1. 計画策定の背景と目的

第3次ごみゼロプラン(以下、「本計画」という。)は、「ごみゼロ社会」の実現に向けて、多様化する廃棄物の資源化や、更なるごみ減量のための施策及び取り組みを示した計画です。

本計画は、平成27年度から平成28年度にかけて「第3次日野市ごみゼロプラン策定委員会」を立ち上げ、市民・事業者が参画した約40名の委員と共に、市民が理解しやすい計画を目指して策定されました。

### 2. 計画期間

本計画の計画期間は、平成29年度から令和8年度までの10年間とし、令和3年度を前期目標年次、令和8年度を後期目標年次とします。

### 3. 日野市のごみ処理の課題

日野市のごみ処理における主な課題は以下のとおりです。

#### (課題1) ごみ減量

平成12年のごみ改革により、ごみ排出量の大幅削減を達成しましたが、近年は『横ばい傾向』であることから更なるごみ減量が必要です。



#### (課題2) リサイクル

可燃ごみの約33%を占める生ごみや分別を開始するプラスチック類の品目を資源として有効利用する必要があります。



可燃ごみに  
含まれる生ごみ  
約33%

#### (課題3) ごみ減量意識

ごみ減量に向けた、市民・事業者のごみ減量意識の向上、環境学習の充実が必要です。



#### (課題4) 広域連携・適正処理

ごみの広域連携及び適正処理を実施するにあたり、市民・事業者・市・関係機関との連携強化情報共有等を促進する必要があります。



